

健診受診者の方へ

ヘモグロビン・エイワンシー

# HbA1cとは…

糖尿病は慢性的に血糖値が高くなる病気です。  
HbA1cはヘモグロビン・エイワンシーと読み、  
過去1～2ヵ月間の血糖値の平均を反映し、  
糖尿病の診断にも使われます。

**HbA1c値が6.5%以上の  
場合は、糖尿病が強く  
疑われます。**



特定健診や事業主健診では、2013年4月から新しいHbA1c(NGSP)が使われます。

昨年まで使われていたHbA1c(JDS)とは、およそ0.4%違うので、ご注意ください。

これまで：JDS値

2013年4月以降：NGSP値

例えば **6.1%**  $\xrightarrow{+0.4\%}$  **6.5%**



# 糖尿病型と血糖値の判定区分

## 糖尿病型の定義

### 【血糖値】

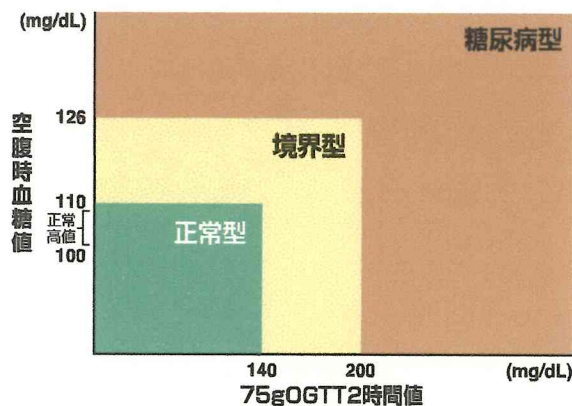
- ① 空腹時血糖値  $\geq 126\text{mg/dl}$
- ② 75g経口糖負荷試験(OGTT)2時間値  $\geq 200\text{mg/dl}$
- ③ 随時血糖値  $\geq 200\text{mg/dl}$

### 【HbA1c】\*

- ④ HbA1c(NGSP)  $\geq 6.5\%$   
[HbA1c(JDS)  $\geq 6.1\%$ ]

\*HbA1cには、国際的に広く使用されているNGSP値で表記されたHbA1c(NGSP)と、日本でこれまで使用されてきたJDS値で表記されたHbA1c(JDS)があり、およそ0.4%異なる。2013年4月より特定健診等ではNGSP値のみが使用される。日常臨床においても、2014年3月までにNGSP単独表記となる。

## 血糖値の判定区分



## 血糖コントロール目標

NGSP値に統一

### 血糖正常化を目指す際の目標

※適切な食事療法や運動療法だけで達成可能な場合、または薬物療法中でも低血糖などの副作用なく達成可能な場合の目標とする。

### 合併症予防のための目標

※合併症予防の観点からHbA1cの目標値を7%未満とする。対応する血糖値としては、空腹時血糖値130mg/dL未満、食後2時間血糖値180mg/dL未満をおおよその目安とする。

### 治療強化が困難な際の目標

※低血糖などの副作用、その他の理由で治療の強化が難しい場合の目標とする。

HbA1c  
6.0%  
未満

HbA1c  
7.0%  
未満

HbA1c  
8.0%  
未満

コントロール目標値

治療目標は年齢、罹病期間、臓器障害、低血糖の危険性、サポート体制などを考慮して、個別に設定します。いずれも成人に対しての目標値であり、また妊娠中は除くものとします。

※HbA1cの目標値は、2013年6月1日から変更となります。以前のHbA1c(JDS)の数値と比較するときは、0.4%引いて考えてください。